TV 報道検証【報道特集】　報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2019 年 7 月 6 日

出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙
和田浩（MBS 毎日放送の記者、精神医療の特集を取材）

検証テーマ： 参議院選挙公示後初の週末、オープニング

報道トピック一覧

・参議院選挙公示後初の週末
・オープニング
・同級生に刺され中 2 男子死亡
・西日本豪雨から 1 年たち追悼の祈り
・「ハザードマップ」を生かすには
・【速報】大阪府「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産に決定
・カリフォルニアで M7.1 の地震
・7Pay 決済事件
・旧ユーゴスラビアに佇むメラニア婦人像
・落札されたツタンカーメン像で論争
・スペインの首都マドリードでハイヒールレース
・【特集】九州の豪雨と避難行動の現実
・【特集】精神医療を問う父親の戦い
・大阪府「百舌鳥・古市古墳群」世界遺産に決定

放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨

・参議院選挙公示後初の週末：結論→放送法の観点から高く評価

参議院選挙が公示されてはじめての週末で、各党首の訴えが以下に朱記したように伝えられた。

ナレ「参議院選挙が公示されてから初めての週末を迎え与野党の各党首らは激戦となる選挙区に入るなどして各地で支持を訴えています。」

安倍晋三(自民党総裁)「この選挙、年金が大きな課題になっています、でも野党の皆さんは具体的な財源を示さずに、また、具体的な案を示さずに不安ばっかり煽っています。強い経済を作れば、年金の財政もしっかりと守っていけるし年金を増やすことができる。」

山口那津男(公明党代表)「皆さんの声をしっかりと生かしていく、そういう政治を進めるために頑張ってきたわけであります。この度の選挙もなんとしても自公政権、勝ち抜いて政治の安定をしっかりと確保してまいりたいと思います。」

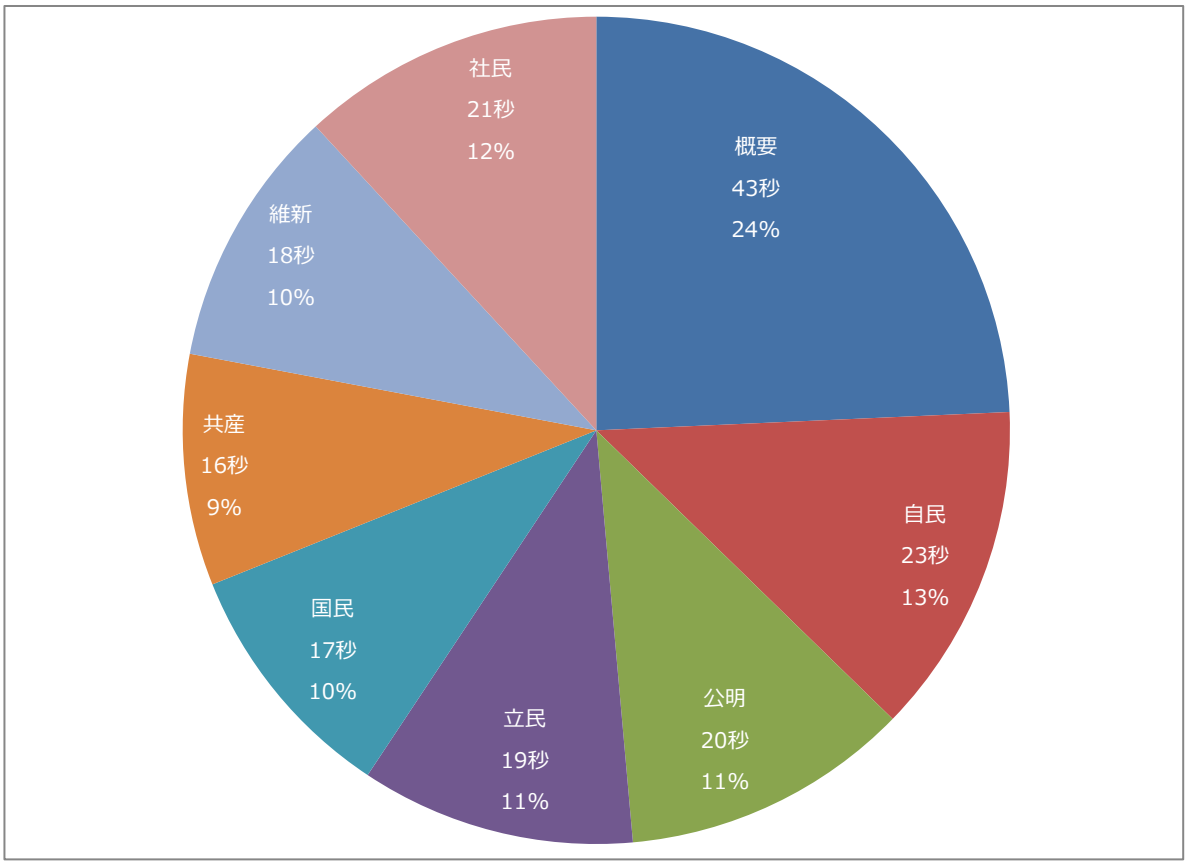
ナレ「政権運営の成果を強調し政治の安定を訴える自民、公明与党に対して、野党側は老後 2000 万円問題など国民の生活に焦点を当て、対立軸を際立たせたい考えです。」

枝野幸男(立憲民主党代表)「2000 万円を貯めなければならない社会ではなくて大きな蓄えがなくても安心して暮らせる社会を目指していく、暮らしの足元を支えていく、そんな政治の力をもう一歩二歩、前に進めさせていただきたい、と。」

玉木雄一郎(国民民主党代表)「嘘をつかない、ごまかさない、正直な政治を取り戻し、そして国民んの普通の国

民の安心を取り戻すための戦いが、今回の参議院選挙です。」
ナレ「その他の野党も安倍内閣の政権運営に対して揃って批判を強めています。」
志位和夫(共産党委員長)「2014 年の 8%の増税、この痛手から回復していないんです。みなさん今からでもこれ止められますよ。だって税金のあり方を決めるのは安倍首相ではない、主権者である国民の皆さんです。」
松井一郎(日本維新の会代表)「自民党だけでいいんですか、ということなんです、自民党、安倍 r 政権、民主党政権よりは、それはマシなね、この 7 年間、でも皆さんそこにはおごりや緩みやたるみもあるじゃないですか。」
吉川元(社民党幹事長)「安倍政権のもとで行われてきた数々の憲法違反、憲法違反の法律、いま安倍政権はこの憲法をまさに変えようとしている、絶対にこの策動を許すわけには参りません。」
ナレ「投開票は今月 21 日、各党の訴えは続きます。」

このトピックに当てられた時間は 177 秒で時間配分は以下の通りであった。



上記の通り、各党首の主張紹介に当てられた時間は拮抗しており、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らすと高く評価できるものであった。

・オープニング：結論→特に問題なし

番組の冒頭で金平キャスターが「西日本豪雨から 1 年、今もおよそ 1 万人の方々が仮設住宅など仮住まいをしている現実があります、過酷な目にあった人々が一年経ってどんな状態に置かれているのか、今週公示されている参議院選挙の投票の際の判断材料にもなると思います、九州豪雨は特集でもお伝えします。」と発言していた。このシーンに当てられた時間は 19 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨 　特になし
検証者所感 　特になし